

感染拡大 乗り切る!

全国でオミクロン株による感染が広がり、感染爆発を警戒すべき状況となっています。感染予防に有効なワクチン接種を安全に進めていくために、地方独立行政法人芦屋中央病院櫻井俊弘院長と波多野茂丸町長が対談を行いました。

▷問い合わせ 健康づくり係
(☎223-3533)



芦屋町長
波多野茂丸

波多野 今年に入ってから新型コロナウイルス感染者数が第5波とは比べ物にならない勢いで拡大し、不安に感じている人も増えているかもしれません。しかし、今回も基本的な感染対策の徹底と、ワクチン接種で乗り越えないといけないと思っています。

現在、芦屋町では、芦屋中央病院をはじめとした医療機関と連携し、新型コロナウイルスワクチン（以下ワクチン）の追加接種（3回目接種）を行っています。ワクチンの追加接種の必要性や効果のことをあらためて教えてください。

櫻井 昨年から進められているワクチン接種は、デルタ株に対して高い予防効果があり、感染や重症化を予防する効果も確認されました。しかし、その予防効果などは、時間の経過とともに少しずつ低下していくことも分っています。オミクロン株は感染力が高く、これまで2回接種した人にも感染者が出ています。追加接種をすることで抗体が増え、予防効果が高まることがわかっています。

波多野 今回の追加接種では国の基準に基づき、ファイザー社製ワクチン（以下ファイザー）と武田/モデルナ

ルナ社製ワクチン（以下モデルナ）の2種類が使用されます。違いはあ

るのですか。
櫻井 厚生労働省の資料では、2回目までファイザーを接種し、3回目もファイザーを使用した場合の抗体の増え方が約20倍、モデルナを接種（交互接種）すると約30倍になることが示されています。

【接種ワクチンの組み合わせと抗体の増え方】

抗体の増え方	3回目		2回目		1回目
	ファイザー	モデルナ	ファイザー	ファイザー	ファイザー
20.0倍	ファイザー	モデルナ	ファイザー	ファイザー	ファイザー
31.7倍	ファイザー	モデルナ	ファイザー	ファイザー	ファイザー
11.5倍	ファイザー	モデルナ	ファイザー	ファイザー	ファイザー
10.2倍	ファイザー	モデルナ	ファイザー	ファイザー	ファイザー

【資料】厚生労働省

波多野 それは心強い。2回の接種後に副反応が出た人も多かったのが、接種後、50%以上の人に、接

気がなるところですが。
櫻井 副反応は人によりさまざまですが、接種後、50%以上の人に、接

新型コロナ 第6波を



地方独立行政法人芦屋中央病院長
櫻井俊弘



種部分の痛みや疲労、頭痛が見られます。また、筋肉痛、発熱悪寒なども現れています。これはファイザーとモデルナで大きくは変わらないようです。

厚生労働省のホームページや1月下旬に皆さんへ配布した芦屋中央病院広報誌「かけはし」でも、オミクロン株やワクチンの情報を掲載しています。皆さんにもワクチンの種類や接種の有効性を正しく知っていただき、3回目のワクチンを接種し、感染予防に役立ててもらいたいです。

私からも伺います。芦屋町での追加接種は、今後、どのように進んでいきますか。

波多野 現在の状況としては、医療従事者や学校、保育所など感染リスクの高い環境に勤務する人や高齢者施設などの入所者など重症化リスクの高い人の接種がほとんど終わって、2月12日からは、65歳以上の人が順に集団接種を行っています。この集団接種は進捗によって変わる場合もありますが、4月下旬までを予定しています。

2回の接種が完了した人で、接種日が到来する人に、毎月、接種券を送りますので、予約して接種をして欲しいと思います。

追加接種の手続き

接種を希望する人は、届いた接種券に同封された追加接種のお知らせで集団接種が行われる日を確認し、ウェブサイトで、予約専用ダイヤル、予約受付窓口のどれかで予約をしてください。

※受付窓口の開設日も追加接種のお知らせで確認してください。

キャンセルの連絡のお願い

予約後、体調不良などでキャンセルする場合は、貴重なワクチンを無駄にしないため、早めに連絡してください。

ホームページ
新型コロナワクチン追加接種
(3回目)



【福岡県の状況（2月5現在）】

※1月27日～2月20日
福岡コロナ特別警報発動中

新規感染者数 5607人
累計感染者数 14万9605人
病床使用率 61.2%

【資料】福岡県ホームページ